

# 2022 年秋学期/テネシー大学ノックスビル校 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

## 1. 授業について

### 授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

現地到着後、レベル分けのテストを行いました。レベルは全部で六段階に分けられました。一限スピーキングとリスニング、二限文法、三限ライティング、昼休憩後、四限リーディングでした。中間休み後、レベルが上がった人が多数でした。

グラマー以外は生徒同士の意見を交換しあうディスカッションやグループワークがメインでした。

クラス分けテストを行い、その成績に応じて授業レベルが決まっていた。Listening & Speaking、Grammar、Writing、Reading の 4 つのクラスがあり、それぞれのクラスで課題が出されていた。協力して行うものから、一人でやるものまで様々だった。対面授業で、少人数制(多くても 10 人ちょっと)だった。

クラスが学力別に分かれているので少人数で授業を受ける形式でした。進め方は先生によりけりで、教科書のユニットを初めから進める先生もいれば、どのユニットをしたいか投票で決める先生もいました。先生も本当に自由なので教科書と全く関係のないお題を出して授業をする先生もいました。

### クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラスの人数は授業によって多少の差はありましたが、大体6~9人程度。日本人は外大生が 8 人と現地在住の日本人が 2 人。他の留学生はスペイン語話者が多めでした。ベネズエラや、エジプト、ウクライナ、フランスと様々でした。アジア人は少なかった印象です。

一クラスはかなり少人数で私が受けた授業の中で一番

分野やクラスによって違ったが、平均 10 人いるかいないかでした。クラスメイトにいたのは中国人、韓国人、ベトナム人といったアジア出身の人々から、サウジアラビア人、セネガル人、イラン人、ニガラグア人、ベネズエラ人、ウクライナ人などがいた。違うクラスにコロンビア人がいた。クラス人数については前述の通り、多くても 10 人台だった。少ないクラスだと 5-6 人の時もあった。ノックスビルは日本人が少ないので、私たち外大生の他に日本人は二人しかいなかった。クラスによっては日本人が私だけの時もあった。

クラスの人数は多くて 10 人ほどで、少人数でした。授業によっては 3 人のものもありました。少人数なので、先生との距離も近く気軽に質問ができる環境でした。留学生の出身国は、韓国、中国、ベトナム、サウジアラビア、ホンジュラス、コロンビア、ブラジル、エジプト、ウクライナなどです。

### クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

基本的に楽しく受講できました。大きなテストではなく、小テストが数回実施されました。授業によって発言が少なくなることもありましたが、自分の意見を発する機会が平等に分け与えられていました。

積極的に話す人が多く、圧倒される場面も多々あった。やはり、間違えることを恐れない気持ちが強く、たとえ間違えたとしても自信满满に発言していた生徒が多かった。違う国や人種の人々がいたので、色々な価値観や考え方を知ることができた。日本の授業と違ったのは、少人数制なので発言の機会が多かった。さらに、かなり自由な印象を受けた。

クラスの雰囲気は和気藹々としていて、年齢は全く違いましたがみんな仲が良かったです。

### 授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

動物や植物の性能を使って人間が使う製品を企画するプレゼンです。意外と難しく動物について調べたり、そこから既存のものと被らないように新しいモノを作るのに時間がかかりました。

アメリカが不正と抑圧なくして進歩することはできなかったとは思うか、そうは思わないかというトピックでエッセイを書かなければならなかったのは非常に難しく、印象にも残っている。また、物議を醸すといわれているトピックを自分で調べてそれでエッセイを書き際に、春学期に取った人権問題論の授業を思い出し、死刑についてのエッセイも書いたが、それも非常に重く難しいトピックだった。

話題のトピックを基に文法を学んだり、ゲームでテスト勉強をクラスの皆でたくさんしました。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

日本人で固まらずに、たくさんの留学生と話す時間を多く設けました。

調べながらでも授業で先生たちやほかの優秀なクラスメイトが何を言っているのか何となくでも拾う努力をしていた。また、長文で読んだ時にわからなかった単語はしるしをつけて、宿題をする際にきちんと調べて、それをノートにまとめていた。

予習と復習をしていたことです。あと、小さなことですが、提出物の期限を守ることは徹底していました。

## 2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
1人(4人)	日本人

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩(4人)	0~15分(4人)	自炊(4人)

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ホテルだったので必要なものは全てありました。	ホテルの包丁が何も切れなくらいポロボロだったので、現地のアジアンスーパーで日本の包丁を買いました。
ホテルに滞在していたので大体のものは揃っていた	ラップや調味料などは多少日本からもっていった。また、パスタソースはとても役に立った。包丁は部屋にもあったがあまり切れ味が良くないものだったので、現地で調達した。
ほとんどの生活必需品は揃っていました。	食材、美容品(スキンケアなど)、季節の変わり目に数着の服をオンラインで調達

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい(4人)	日本からSIMカードを持参(3人)	ワイヤレスで可能(3人)	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
日本語クラブ、三味線クラブ、UTK bridges と呼ばれる留学生が集まるコミュニティに参加	ダウンタウン近くのホテルに在住していたので、物価が高かった印象です。カフェなどはたくさん行きました。
テネシー大学にある日本クラブに毎週水曜日に参加していました。	学校の近くにあるスターバックス、ホテルの近くにあるタピオカ屋さん
	ホテル周辺にはいろいろなお店があったので夜ご飯を食べたり、気分転換によく散歩をしたりしました。

### 3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
家にある参考書を読んだ
単語をとにかく詰め込みました。
必要最低限の会話文や留学国の文化を調べておく。カルチャーショックが最小限で済むはず。リスニングをたくさんしておく、短期間で現地での会話の内容も理解しやすいと思います。洋楽を聴く、洋画を観る、英会話に通うなど。私は何も準備せずに出国し現地到着後、環境に慣れるのに時間が要りました。

留学前にしておけばよかったと思う準備
スラングなどのアメリカの学生たちが使うような英語の表現をもっと覚えておく、便利だったと思う

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
折り紙、文房具、シール、日本のお菓子。消しゴムとかシャーペンなどの文房具は日本のものの方が絶対にいいと思います！
自炊するならばパスタソース、塩・胡椒などの調味料、マヨネーズ(圧倒的に日本のものの方が美味しい)、S字フック、ポケットティッシュ
延長コード、日本製の文房具(主にペン類)、女性であればスキンケア、常備薬、冬であればヒートテック、日本のお米、現地の友達に渡す用の日本のお菓子(配りやすいもの)

日本から持っていく必要のなかったもの
ノート、ファイル類
本当になんでも現地で揃うので、薬とかいつも使っていてこれだけは何にも替える事が出来ない！っていうもの以外は持っていなくても大丈夫です。
文法書

日本から持参すればよかったと思ったもの
お箸(これは自炊するなら特にマストだと思う)、延長コード

### 4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
キャッシュ/パスポート/プラチナカードにドルでチャージしていきま。またそのカードはオンラインショッピングやUberに対応していないので、もう一枚カードを用意していきま。(VISAとマスターカード両方持つべき、また為替手数料が少ないものがお勧め)	クレジットカード(2枚とも上限20万円)、デビットカード(上限50万円)、日本円3万円ほど(多分要らない) 旅行したあとはクレジットカードの上限を30万円まで上げた、デビットカードは寮費を払う時に上限をMAXまで上げた
クレジットカード×2枚、デビットカード×1枚、現金200ドルほど	チャージ額、80万。旅行代30万。
お金は、デビットカード、クレジットカード2枚、現金400ドル、日本円3万円ほどです。私は特にアメリカドルで支払えるカードは使いませんでした。なので手数料とその日のドルで日本円計算されて引き落とされるカードです。現金は最初400ドル持っていきましたが、後からデビットカードで引き落として使っていました。友達と割り勘する時に、現地の送金アプリをダウ	現金は400ドル分なので5万円ほどで、あとはデビットに20万円、クレジットカードには特に制限はなかったと思います。

<p>ンロードできなかったので、現金で返金していました。大学から勧められたドルで支払えるプリペイドカード的なものを使っている子は最初の方結構カード会社に利用を止められたりして大変そうでした。</p>	
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	--

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
<p>ホテル代は約 55 万円、食費は計算した事がないのでわかりませんが、週に最低 2 回は外食をしていました。その際に一回 20 ドルはかかっていたと思います。自炊の際はスーパーで材料を買っていました。ルームメイトと 2 人で 30 ドルほどの買い物を週に一回ほどしていたと思います。お昼は浮かせるためにホテルの無料の朝食のパンを持って行っていました。</p>	<p>通学費は 0 円です。テキスト代を別で支払うことはなかったので詳しくはわかりません。</p>
<p>住居費 57 万円ほど、食費は自炊と外食なので定かでないが月々 1.5 から 2 万円ほどかかっているとおおかしくないと思う</p>	<p>それぞれなし</p>

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。
<p>①ニューヨークロサンゼルス、②フロリダ、③アトランタに行きました。①ノックスビルからアトランタまでの行きと帰りは夜行バスに乗りました。いろんな人たちがいい経験になりましたが、もう 2 度と使わないと思います。アトランタからは飛行機でニューヨークに行き観光し、そこからロサンゼルスに飛行機で移動して、観光と、ディズニーランドに行きました。長期休暇の初日から最終日までの全てを旅行に使いました。②フロリダはユニバーサルスタジオのホラーナイトを目当てにしていたので、土日だけで行きました③アトランタ旅行は現地の友達の車に乗せてもらって行きました。</p>
<p>10 月中旬の秋休み期間に 10 日間ほど使ってアトランタ、ニューヨーク、ロサンゼルスに滞在。30 万程だと思っているが実際もっとかかっていると思う。ネットで予約をした。トリップドットコムなどの日本のサイトからも予約ができた。</p>
<p>帰宅後は、近所を散歩したり、現地の友達と食事やゲームセンターやショッピングに行きました。</p>

## 5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
<p>必要最低限の会話文や留学国の文化を調べておく。カルチャーショックが最小限で済むはず。リスニングをたくさんしておく、短期間で現地での会話の内容も理解しやすいと思います。洋楽を聴く、洋画を観る、英会話に通うなど。私は何も準備せずに出国し現地到着後、環境に慣れるのに時間が要りました。</p>
<p>特にスピーキング力が上がったように思う。日常会話だと脳内で日本語に変換せずに話せるようになった。</p>
<p>アメリカならではの表現やコミュニケーションの仕方を現地の大学生に教えてもらうことで能力が上がったと思います。</p>

留学前の目標とその達成度
<p>目標であった、現地の友達を作ることを達成できました。</p>
<p>まず、TOEFL の点数が一気に上がったことが最大の目標達成だと思います。今まで 500 点も行かなかったのに留学中に受けた全ての試験で 500 点を超えることができました。二つ目の目標達成は、いろんな人と話すことです。いろんなバックグラウンドを持つ学生と交流できたことが嬉しいです。</p>

留学を通しての成長ポイント
---------------

留学前と留学後で大きく変わったことは、自信です。アメリカの方は容姿をまったく気にしません。すべて受け入れていました。また自分の考えが強くあり、日本とは違い自分をとても大切にしていた印象です。また、家族をとても大切にしていました。仕事の残業はほとんどなく、家庭の行事やイベントを大切にしていました。

様々なトラブルに直面して臨機応変に対応ができるようになった。

コミュニケーション能力が上がったことだと思います。内向的なところは変わっていませんが、日本にいる時よりも自分から人に話しかけに行くことができたと思います。

#### 留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前から留学を楽しみにしていたので、モチベーションは常に高かったですが、入寮できないと知って一気に下がりました。他の留学先の友達に比べて交流できる機会も本当に少なかったと思います。ですが自分で経験を掴み取るために意地でもモチベーションを上げてコミュニケーションを測りました。留学後はこれからもっと頑張っていこう！という気持ちでいっぱいです。

留学前に比べモチベーションが上がった。もっと話したいと思うようになった。

#### 留学中 100%力を振り絞った瞬間

現地の人との会話です。留学生でも、他国から引っ越してきた人でもない、英語を第一言語として使う人と話すのに力を振り絞りました。また、自分の留学先は少し訛りがあるので聞き取るのに必死でした。

難しいエッセイを書ききった時。先生にも褒めていただけ、英語力のみならず今まで学んできたことを発揮できたと思った。

#### 留学先大学の良かった点

先生が優しくフレンドリー。拙い英語でも目を見て頷いてしっかり話を聞いてくれる。ホテルからはとても近かった。

広くて学生への手当がしっかりしているところ